

令和3年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 市民自治 部 まちづくり 室 まちづくり推進 課

1. 基本情報

201

施設名	伊丹市立市民まちづくりプラザ		
施設の設置目的	市民の参画と協働によるまちづくり活動の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱： 市民力・にぎわい・活力 施 策： 市民力・地域力 実施施策： 市民活動団体の活性化		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 シンフォニー (団体の住所又は所在地) 尼崎市神田北通二丁目12番の1大陽ビルディング5階D室		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	講座参加者数 (単位： 人)	
	指標の意味	講座に参加した市民の人数	
	今年度の目標値	280	今年度の実績値 594

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3 (上期)	R3 (通期)
	講座開催回数 (回)		18	39	38	8	64	25
講座参加者数 (人)		590	275	279	36	585	264	594

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	3カ年平均
収入		使用料収入	0	0	0	0
		事業収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		指定管理委託料	1,874	7,490	7,490	5,618
		①合計	1,874	7,490	7,490	5,618
支出	維持管理	光熱水費	163	0	0	54
		清掃等委託料	13	0	0	4
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	30	68	58	52
	運営	人件費	1,396	7,500	5,697	4,864
		事業等経費	377	1,070	1,188	878
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	1,979	8,638	6,943	5,853	
純収支 (①-②)			△ 105	△ 1,148	547	△ 235

			H28	H29	H30	R元	R2	R3
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入		0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
	市の支出		14,062	7,752	7,733	1,874	7,490	7,490
	(内、指定管理委託料)		7,867	7,653	7,733	1,874	7,490	7,490
	実質経費 (歳出-歳入)		14,062	7,752	7,733	1,874	7,490	7,490

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	通常の維持管理業務に加え、消毒作業など必要に応じた新型コロナウイルス感染症対策に努めている。	B	館内は清潔に保たれており、新型コロナウイルス感染症対策についても、適切に実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	適切なサービス提供のため、定期的にミーティングや朝礼を行い、連絡ノートなどを活用し、職員間で情報共有している。	B	職員の役割分担を明確化し、仕様書に定めるサービス提供体制を整備すると共に、職員間での情報共有も適宜行っている。
防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	—	—	—	—	—	
防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急対応マニュアル設置や、スワンホールの避難訓練に参加するなど、緊急時に備えた体制整備に努めている。	B	緊急マニュアルの共有や避難訓練を実施するとともに、緊急時の連絡体制を整備している。	
	避難訓練を実施しているか。	B		B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	アンケート等により、利用者ニーズを把握し、サービスに反映するよう努めている。また、事業実施に際しては、市民や登録団体等に広く周知を行い、利用者の増加に努めた。	B	市民活動団体等へのアンケートや相談業務を通じて、利用者ニーズを的確に捉えるよう努めている。また、ニーズを反映した講座実施や情報発信を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナ禍の影響により円滑な事業実施への懸念があったが、講座日程の延期等、柔軟に対応した他、コロナ禍におけるニーズに対応した事業を実施し、年間目標を大幅に上回る講座参加者数を計上した。	B	地域や市民活動団体のDX推進に向け、各種デバイスの活用に係る講座を積極的に実施し、また、講座参加者数は目標を大きく上回った。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		A	
個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページ(新着情報の都度更新)やFacebook(毎日)、メルマガ(月1回以上)、広報紙、チラシの配架などで、情報発信している。特にFacebookでは登録団体取材した内容も随時配信している。	B	利用者に対し、広報紙やホームページ、SNS等多様な形態で必要な情報を積極的に発信している。	
	利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B		
	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B		
収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	運営上必要な経費処理は適正に実施している。	B	適正に経費処理を行っている。	
	経理処理は、適切に行っているか。	B		B		

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「—」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	各種相談等を含め市民活動支援業務や、施設運営については一定水準を満たしている。また、市民活動に役立つ講座の実施については、コロナ禍におけるニーズに対応し、Web会議やスマートフォン、PC等の活用に関する講座を積極的に実施し、講座参加者数において通期目標を大幅に上回る594名の参加を計上した。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」=非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」=良好である又は成果があった。

「B」=取組状況の水準が普通である。

「C」=改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年4月1日～令和4年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	a.職員の接客態度はいかがですか? 「非常によい」57% 「良い」42% 「無回答」1%	a.職員の態度について、継続して良好な評価が得られているため、今後も同様に評価されるよう、職員間での意識づけを継続する。
回答者数	b.今後プラザで提供してほしい項目や充実して欲しい項目はなんですか? ①各種セミナー281件、②各種イベント情報81件、③情報交換、交流52件、④活動紹介45件、⑤HP・FB44件	b.セミナーについては、個別のテーマに関する要望を受ける機会が多いため、市民まちづくりプラザの設置目的を鑑みつつ、利用者のニーズにマッチする講座の実施に努める。また、デジタル関連の講座については参加者数も多く、継続して高いニーズがあるため、次年度以降も継続して実施する。情報交換、交流や活動紹介については、FBを活用するほか、「まちプラ新聞」の発行を予定しており、登録団体の活動紹介や交流を一層促進するよう努める。
380		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置